

エリアウェーブ

峡東教育事務所
 地域教育支援スタッフ
 TEL 0553-20-2731
 FAX 0553-20-2733



8月22日（木）甲州市民文化会館において、峡東地域教育推進連絡協議会主催の「保幼・小・中連携セミナー」が開催されました。当日は、夏休みも終わり2学期が始まるといった日程にも関わらず、153名の方々が参加し、日本アンガーマネジメント協会認定ファシリテーターで山梨市立山梨北中学校教諭の広瀬竜太先生を講師にお招きし、『やってみよう！「アンガーマネジメント」～子どもたちの笑顔は、大人の笑顔から～』をテーマに講習をしていただきました。以下にその内容の要旨を掲載します。

アンガーマネジメントは、1970年代にアメリカで始まったとされている、怒りの感情と上手に付き合うための心理トレーニング・心理教育です。開発当初は、DVや軽犯罪などの矯正プログラムとしてカリフォルニア州を中心に実施されていました。それが全米の教育機関や企業で扱われました。現在では、ビジネスパーソンや主婦、スポーツ選手まで広く浸透しています

◎怒ることのメリット・デメリット

最初はデメリットです。【人間関係が壊れる・雰囲気が悪くなる・エネルギーを使う。怒りにとらわれてしまって集中できない。】

次は、メリットです。多くの人は怒ることにデメリットを感じやすいですが、もちろんメリットもあると思います。【相手にしてほしいことが伝わる。相手の成長につながる。真剣さが伝わる。何かのサイン。→自分の危険を知らせてくれる。怒るというのは自分を前に進めるためのエネルギーにもなるかもしれません。】

★「スッキリする」は、メリットではない。スッキリするために、やたら怒られたら、こっちとしてはたまったもんじゃ無い。怒ることでストレス発散もメリットではない。ストレス発散で怒ってばかりいたらとんでもないことになると思います。

◎アンガーマネジメントとは、

アンガーというのは「怒り」。その感情をマネジメントする。私たちアンガーマネジメント協会では、マネジメントを「後悔しないこと」と意識しています。『アンガーマネジメント』と聞くと、怒ってはいけない、と思われる方がたくさんいらっしゃいます。実はそうではなくて、怒る必要のあるこ



カラー版をご覧ください

『エリアウェーブ』はカラー版を峡東教育事務所のホームページで掲載中です。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、ホームページを開いて下さい。是非ご覧ください。



エリアウェーブ
ホームページ

ホームページアドレス
<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/chiiki/areaweb.html>

ご意見をお寄せください

◎『エリアウェーブ』のご意見・ご感想・取材情報をスタッフ一同お待ちしております。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールでご連絡いただくか、表紙右上の連絡先にご連絡下さい。



E-mail アドレス
kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp

お問い合わせ

とには上手に怒れ、怒る必要のないことには怒らないようになること、その線引きができるようになることが『アンガーマネジメントができる』ことなのです。怒る必要のあることは怒ればいいですし、怒る必要のないことは怒らなければいいし、決して怒らないことではないということ覚えておいてください。怒らない人になれるとか、全くイライラしない方法を知れると思われがちなのですが…実は違うんですね。

◎アンガーマネジメント 3つの暗号

アンガーマネジメントは3つのパートから構成されているのです。アンガーマネジメントを上達させるためには、衝動のコントロール、思考のコントロール、行動のコントロールを覚える、身に付ける、実践することが大事になります。私たちは、3つの暗号 通称 ①6秒 ②三重丸 ③分かれ道 と言っています。

◎怒りとは

「怒り」という感情について理解していきましょう。色々な感情がありますが、アンガーマネジメントでは「怒り感情」だけに焦点を当てています。なぜかという、「怒り」の感情は、唯一、人生を壊してしまうことにつながる感情でもあるからです。喜びという感情をマネジメントできなくても、大きな問題にはなりにくいと思いますが、怒りの感情は上手に付き合えないと大きな問題になってしまうのです。怒りは厄介な感情です。そもそも「怒り」とは何なのか？「怒り」というのは、私たち人間に備わっているごくごく自然な感情の1つです。怒り感情のない人はいないですし、これを無くすることもできないのです。人間になければならない感情なのです。無くそうとする努力をする必要もないのです。では何のためにあるのか？機能・役割があるのです。怒りは「防衛感情」といって、自分の身を守るための感情なのです。動物にも怒り感情あると言われていたのですが、例えば、動物にとっては天敵が現れたときに、命を守るためにその場で相手に襲いかかるのか、あるいは逃げるのかという命令をするための感情なのです。今、私たちは身の危険を感じることはあまり無いと思いますが、何か侵害されそうな時や、脅威を感じた時に、自分の大切なもの、例えば身や立場や考え方を守ろうとするために怒り感情がでる。あくまでも防衛感情なので、怒っている側は相手を攻撃しようとして怒っているのではなく、少なくとも守ろうとして怒っているのです。こう考えると、怒っている人の姿って違って見えそうですね。

◎問題となる4つの怒り

次の4つの怒りは要注意ですよ、ということをお伝えしますね。①は「強度が高い」激高する人。大声を上げてしまう人。②は「持続性がある」根に持つ、思い出し怒りをする。③は「頻度が高い」1日の中でかりかりしている人。④「攻撃性がある」これに関しては、3方向あるんですが…他人を傷つける、自分を傷つける、物を壊す。この4つのタイプにどれか一つでも当てはまると要注意ですね。



◎自己診断

これまで、怒りの感情について話をしてきましたが、「怒り」って怒りっぽいとか、怒りっぽくないかのどちらかだったのです。少し勉強したことで、怒りの感情は強度だったり持続性だったりいろいろな指標があるということが分かりましたよね。分類すると理解しやすくなったと思います。怒りの感情は学ぶことで理解しやすくなります。これまで怒り感情を勉強することなんて無かったので、学べば今までよりも格段に扱いやすくなるでしょう。

◎怒りは第2次感情

もう一つ怒りの感情について知っておいてほしいことがあります。それは、怒りの感情は第二次感情であるということです。怒りの感情というのは空から急に降ってくるということではなく、必ず前段階があるということです。氷山の絵がありますが、まさに氷山に例えられます。一般的に氷山の90%は海面下にあり、10%が海面に出ていると言われます。目に見えている、海面に出ている「怒り」という感情の下には、何か隠れているのです。例えば、辛い、不安、悲しいという一般的に言うマイナスの感情（第一次感情）が隠れているのです。私たちが怒りを感じる時には、その裏には第一次感情が隠れていると思った方がいい。自分があるいは誰かが怒っている時には、この人の怒りの感情の裏には第一次感情が隠れているのだ、ということを考えてみましょう。怒りを小さくしたかったら、目に見えている部分を小さくするのではなく、その裏、海面下に隠れている部分を小さくしようとする方が圧倒的に早く、目に見えている怒りの部分が小さくなると思います。大切なことは、自分が怒りを感じたとき、また相手を怒らせてしまった時、怒りの奥にどんな第一次感情が隠れているのだろうか？を探ることです。すると、もっと上手に怒り感情と向き合うことができるのではないのでしょうか。「第1次感情に目を向ける」ということ覚えておいてほしいです。

◎反射

まずは、衝動のコントロール。これから皆さんは、どんなにイラッとなっても、カッとなってもやっってはいけないことがあった一つあります。それは「反射」です。反射的に言う、反射的に言い返す。仕返す。売り言葉に買い言葉というやつです。反射的に何かするということを止めてください。

◎衝動のコントロール 6秒

反射しない。という話でしたが、ではどのくらい待てば良いのかというと「6秒」です。私たちは「6秒ルール」といいます。なぜか？怒りを感じたときにアドレナリンが走ります。そのピークが6秒だと言われていました。「6秒」あれば多くの方が理性的になれると言われていました。6秒で怒りが無くなるという訳ではなく、6秒あればアドレナリンの支配から抜け、クールダウンし理性的になれるので、より良い判断をすることができると考えています。何かを、相手に反射的に言ってしまう、ケンカになり、それにエネルギーと時間を費やして疲れるよりは、6秒待つことはそんなに長いことではないでしょう。誰でも簡単にできる方法ですので、家族げんか、親子げんか、あるいは職場でけんかになる前に、習慣づけてみてください。

◎怒りの温度計

6秒待つためのテクニックとして、怒りの温度計をつけてみましょう。怒りの温度計は、0は穏やかな状態で10は人生最大の怒りです。ちなみに10は目の前の人を殺めてしまうほどの怒りです。怒ったときに、今どのくらい怒っているのかな、その都度温度計を思い浮かべるのです。それを考えている間に6秒過ぎていきます。怒りには尺度がないから尺度を使うと物事を判断して、行動できます。怒りの温度をつけてみてください。

◎コーピングマントラ

もう一つ、落ち着く言葉を自分自身に言うてみることです。イラッとしている時に、他の人から優しい言葉「大丈夫だよ」って声をかけられると、安心したり、落ち着いたりしませんか？それを自分でやってみるのです。自分自身で心を落ち着かせるためにどんな言葉をかけてみますか？例えば、「大丈夫、大丈夫」「何とかなる」とか「子どもの名前」とか「好きな食べ物」とかでいいと思うのです。注意したいのは、相手を呪う言葉は止めた方がいいです。さて、自分ならどんな言葉を自分にかけますか？

さあ、振り返りましょう。まずみなさんがしてはいけないことは何ですか？反射をしないということです。そのために「6秒待つ」ということです。6秒待つためのテクニックとしては2つ、何をしますか？「温度を測る」「落ち着く言葉（コーピングマントラ）」を唱えることです。ここまでやると6秒待てます。アンガーマネジメントはトレーニングです。トレーニングは積み重ねで上達します。いやいや、6秒待てないかなと思うのでは無く、やってみてください。練習すればできるようになっていきます。

◎私たちが怒らせるもの正体

実は私たちが怒らせるもの正体は自分が信じている「～すべき」という言葉なのです。仕事はこうするべき、親は、子はこうあるべき、上司は、部下はこうあるべき、教師は児童・生徒はこうあるべきという、いろいろなべきがあると思います。そういった自分の理想・価値観・信念といったものが裏切られると、私たちは怒るのです。自分の理想と現実にギャップが生まれると怒るのです。ということは、私が、そして周りの人たちがどんな「べき」もっているかが分かれば、いつ・どこでどうやって怒るかが分かってくるということです。さて、先ほどみなさんに怒ったことを書いてもらいました。それは、みなさんのどんなべきが裏切られたから怒ったのでしょうか？「べき」を使うと自分が怒っている理由がすっきり説明できますよね。これまで私たちは自分を怒らせるものは自分の外にあったと思っていました。しかし、本当に自分を怒らせるものは、実は自分の中にあっただけです。これはすごく良かったことで、もし、他人や出来事が怒る理由だったら、みなさんはそれらの奴隷なのです。

怒りは自分の中に本当の原因があるので、自分で選ぶことができるのです。自分が考えることも、どういう感情をもつことも自分の責任で選ぶことができるのです。つまりコントロールできるのです。誰にも何にも振り回されることなく、自分でハンドルを握りコントロールできるということです。

◎怒りのメカニズム

どうやって怒りが生まれるかという、3つのステップがあります。まず出来事です。その出来事をどのようなものであるかという意味づけします。その結果、怒りが生まれます。一番大事なものは「意味づけ」をするということなのです。アンガーマネジメントでは、出来事には意味がないと考えています。その出来事がどんなものなのかと「意味づけ」するとき、自分の心の中にある「べき」を見ます。「べき」は心の中にある辞書だと思ってください。英単語が分からなかったら辞書を見ますよね？何か出来事が起こったときに、無意識に心の中の辞書を見るわけです。あれ？これってこういうこと？と、辞書を見るわけです。つまり〇〇という出来事には意味はない。その出来事にどう意味づけるかで、生まれてくる感情が変わるわけです。怒りかもしれないし、喜びかもしれないし、私たちにあって一番大事なものは、それをどう意味づけするかなのです。

◎思考のコントロール 3重丸

私たちの心の中にはこの3重丸があると思ってください。中心にあるのは「①許せる」その周りにあるのが「②まあ許せる」です。その外が「③許せない」です。アンガーマネジメントというのは、「怒らない」ではないですよ？怒る必要があることは上手に怒り、怒る必要のないことには怒らないですよ。その線引きができること。2重丸目（②と③の境界）が点線になっています。その点線がハッキリするかがポイントなのです。なぜならその点線が、怒ることと怒らないことの「境界線」になるからです。その点線には「後悔」という文字が書かれていると思ってください。怒って後悔するなら怒らなければいいし、怒らないで後悔するなら怒ればいいのです。これからみなさんが頭にくることがあったら、まずは「6秒待つ」次に何をするかという、この「3重丸」

講演会の御案内

峡東地域教育推進連絡協議会

※詳しいお問い合わせは峡東教育事務所まで

☆人権のための講演会☆

児童虐待に関する講演会を開催します

児童虐待を未然に防止するために学校や地域はどのようなことができるのでしょうか。また、児童虐待を受けた子どもの心身をケアするために教師やPTA、地域の大人たちはどのように関わったらよいのでしょうか。そこには、親に代わる信頼できる大人の存在が必要不可欠です。学校や地域がどのように連携することが必要か、児童虐待の実態や子どもへの影響について、いくつか具体的な事例を挙げながらお話しします。

講師 西澤 哲先生

山梨県立大学 人間福祉学部 教授

日時 令和元年11月21日（木曜日） 15:30～17:30

場所 いちのみや桃の里ふれあい文化館 多目的ホール

を考えてほしいです。許せるのか、まあ許せるのか、許せないのかこの3段階です。多くの人は、まあ許せる、のゾーンが狭いのです。100点かアウトかを考えてしまう。②が狭いと無駄にイライラすることが増えます。この3重丸には問題があります。みなさんの3重丸は見えないのです。では、少し見てみましょう。こうやって見えるのです。例えば、今日の待ち合わせ時間は10時集合です。みなさんの集合するべき時間は何時何分ですか？聞いてみて下さい。正解はありません。同じ「時間を守るべき」ですが、3重丸が違うから話が合わないのです。そもそも見えないから、何がOKで、何がダメなのか分からない、今日が何故セーフなのか分からない、3重丸を支配しているのが機嫌だからです。②を大きくする努力、ある程度広げたら止める(基準をつくる)、人に見せることをやってみましょう。

◎行動のコントロール 分かれ道

では、怒ると決めたら「行動すればいいのです。行動のコントロール」です。行動するとき4つに分けるのですがどう選べばいいか、その行動の選択が、自分や周りの人にとって、長期的に見たときに健康的かです。それは左上です。今すぐやらなきゃいけない、その時に決めごとを2つします。いつまでに・どの程度変わったらいいかを気が済むのかを決めることです。例えば、子どもや部下にいつまでに、どの程度変わってほしいかを伝える。ただし、ポイントは明確なリクエストを伝える。そしてアサーティブを意識することです。左下ですが、後でやればいいし、余力があれば取り組めばいいです。例えば、今朝の夫婦ゲンカのことを会議中に考える、それは家に帰ってからやればいいですよ。今考えることではない。「仕事に集中しなさい。」です。右上ですが、急いでいるときに渋滞にはまってしまいました。渋滞って、変えられないことを受け入れて、現実的な選択肢を探るのです。ルートを変えるとか、電車に乗り換えるとか、訪問先に電話するとかです。右下は、ほっとけば良いのです。手放す、関わらないという行動です。例えば電車の中のマナー違反のことですが、ずっと見てイライラしてしまう。怒りだしてしまう。では、先ほど怒ったことを書いてもらいました。その出来事は、③の許せないゾーンに入れて行動すると決めました。では、どこのエリアに入りますか？入れてみて下さい。自分であればどこに入れて、どうしますか？聞いてみてください。イラッとして何秒待つのですか？その間に2つのテクニックを使ってください。待てたら何重丸？①②は怒らない。怒ると決めたらいくつの箱に収めるのですか？基準は、自分と周りの人にとって長期的に見て健康的かどうか。

◎怒りの性質

怒りの感情は色々な性質があります。(1)高いところから低いところへ流れる (2)身近な対象ほど強くなる (3)矛先を固定できない (4)伝染しやすい (5)メリットにもあった通り、エネルギーになり、自分を成長させるエネルギーになります。

◎協会の理念 怒りの連鎖を断ち切ろう

すべての人が自分の怒りの感情に責任をもつことができれば、人が人に当たらない世の中をつくることができ、怒りの連鎖を断ち切ることができると信じています。

◎まとめ

イライラが子どもたちに伝染するのではなく、アンガーマネジメントによってそのイライラをコントロールし、笑顔が、そして幸せが子どもたちに伝染することを心から願っております。「子どもの笑顔は私たち大人の笑顔から」「子どもの幸せは私たち大人の幸せから」怒りに振り回されることなく、幸せな人生をともに歩んでいきましょう。



磁石で科学教室

山梨市教育委員会では6月22日(土)市内の小学3年生から6年生を対象に第1回子ども科学教室を山梨市民会館において開催しました。29名の子どもが参加し、「磁石で遊ぼう!」をテーマに、磁石について講師の中村先生による実験や実演を通して学習した後、塩ビ管パイプや磁石などを使って「マジカルエレベーター」と呼ばれる簡易玩具を作製しました。子どもたちは支援会の皆さんと生涯学習課の職員の指導を受けながらカッターや割り箸を使って丁寧にものづくりをしていました。他にも磁石のS極とN極の仕組みを様々な磁石と身の回りにある生活用品を使った実験で学び、その学習結果を持ち帰りました。楽しく科学に関する学習をしていました。

山梨市生涯学習課



心のバリアフリー

笛吹市立一宮南小学校

6月2日(木)「バリアフリー教室」が関東運輸局山梨運輸支局を中心に関係機関協賛協力のもと、一宮南小で開催されました。当日4年生の児童は体育館に集まり、町のあちらこちらにある「バリア」についての説明を受けました。それから、



車いすに乗ったまま利用できるUDタクシーへの乗車を体験しました。また、実際に車いすに乗って段差を乗り越えたり、目隠しをして白杖を頼りに点字ブロックを歩いたりしてみたところ「むずかしい、こわい」「思ったより歩きづらい」などの感想が出ていました。その中で「心のバリアをとることが障害者やお年寄りに対する理解につながる」とおっしゃった山梨運輸支局長の言葉が印象的でした。児童たちにとって障害者理解を深めるよい機会となりました。



その中で「心のバリアをとることが障害者やお年寄りに対する理解につながる」とおっしゃった山梨運輸支局長の言葉が印象的でした。児童たちにとって障害者理解を深めるよい機会となりました。

音楽とホタルを楽しむタベ

甲州市塩山玉宮地区(玉宮小学校協賛)



6月29日(土)玉宮地区のかじか倶楽部主催の「水神池のタベ～音楽とホタルを楽しむタベ～」が行われました。水神池は玉宮小学校の子供たちが、学習の場として活用している場所です。当日は多くの玉宮小学校の親子や地域の方々が参加し、倶楽部員の沢登さんによる森とホタルの光で包まれた中でのリコーダーやギターの演奏を聞き、その後ホタル観賞をしました。



たくさんのホタルが舞った幻想的な世界でした。地域や学校が一体となった取り組みに、参加者からは、「すばらしい演奏と自然にふれて楽しかった」「来年も行きたい」などの感想が寄せられました。

1日教育委員会

甲州市立塩山中学校

7月10日(水)に塩山中学校で一日教育委員会が実施され、山梨県教育委員会より市川満教育長をはじめ4名の教育委員が同校を訪れ生徒たちと交流しました。教育委員の皆さんは、学校側の概要説明の後、教室に移動し生徒たちに講義を行ったり、講義の内容について生徒たちと意見交換をしました。市川満教育長の講義では、「結論をイメージしてそこにたどり着く方法を考えることが大事です。人生や生活は自問自答してそれを続けていくことです。」と語りかけていました。武者稚枝子委員の講義では、「女性は中学生の頃から妊娠に向けて体ができていく。出産という命を育むまでの体の変化を女性はもちろん、男性も理解していなければならない。」と性に関して中学生に必要な知識や人間としてのあり方を教授していました。加藤正芳委員の講義では「日本にはグローバル化の波が押し寄せており、日本単独では生きていけない。貿易依存度は大きくなっている。」といった難しい内容もありましたが、生徒たちは、変わりゆく未来にどのような心構えでいなければいけないかを示唆する内容に真剣に聞き入っていました。佐藤喜美子委員の講義では「説明的な文章を自力で読む方法がわかる」を目標に文章を読み、先生の問いかけに「できたあ！」という歓声を多くの生徒があげていました。また、三塚憲二委員の講義では、「規則正しい生活をする。運動をする。父母と仲良くする。ストレスを溜めないこと。これが健康を守る秘訣である。健康寿命と平均寿命を近づける必要がある。」と子どもたちに語りかけていました。講義の後、4名の教育委員は、それぞれの教室で生徒と一緒に給食を食べました。生徒たちは講義も終わり、リラックスした雰囲気の中で講師を務めた教育委員の方々に気軽に話しかけていました。子どもたちにとって、普段とは異なる雰囲気の中での講義でしたが、真剣に講師の目を見て聴く態度、質問にははっきりと答えるなど、生き生きとした眼差しが印象的でした。



勝沼中と大和中の交流

甲州市立勝沼中学校・大和中学校

7月10日(水)に勝沼中学校を大和中学校の28名の生徒が訪れ、それぞれの教室に2~3名ずつ分かれ合同の授業が行われました。理科の授業では、先生たちの発見や功績の話から揚力について考えたり、国語では、言葉に関するあるなしクイズを、ペアになった生徒どうしで協働して考えたり、数学の授業では、分配の法則を「分子にカッコをつける」をポイントに学ぶなどしました。生徒たちは、聞いたことがない先生の授業を受けたり、1つの授業で両中学校の先生が指導するなど、普段とは違った雰囲気の中での授業に臨んでいました。



「国宝 小桜韋威鎧(こざくらかわおどしよろいかぶと)」6年ぶりの公開

甲州市の菅田天神社に所蔵されている国宝小桜韋威鎧(楯無鎧)が8月7日(水)に6年ぶりに一般に公開され、県内外から多くの歴史ファンが訪れました。この鎧は、甲斐源氏の始祖源義光以来、武田家の重宝として尊崇された鎧で、武田信玄が菅田天神社に納めたものです。信玄はこの鎧を、一門の於曾氏に守護させ、他国と戦うときは必ず陣中にこの鎧を奉じ、また霊器としてこの上なくあがめていました。信玄の死後は子の勝頼が相続し、天正10年3月織田信長の甲州征伐(甲州侵攻)に際し、この重宝も出陣しました。しかし、戦に敗れ信長の子、信忠に追われる最中、嫡子信勝にこの鎧を相伝し、武田家の再興を期するよう命じましたが果たせず、武田家は滅亡しました。この際、勝頼の家臣田辺左衛門尉が、鎧が敵に渡るのを恐れ向嶽寺の大杉の下に埋めたものを、徳川家康が発掘して再び菅田天神社に納めたものです。この鎧が国宝に指定されたのは、昭和27年のことです。

現在、国宝に指定されている文化財は山梨県に5つあり、その1つがこの小桜韋威鎧です。他に向嶽寺が所有する絹本著色達磨図、同市勝沼町の大善寺本堂、山梨市の清白寺仏殿、身延町の身延山久遠寺の絹本著色夏景山水図があり、この峡東地域に4つの国宝があります。一度は訪れ、古き時代の人々の文化や心に触れたいものです。



中国天津市の子どもとの交流

笛吹市学校教育課

7月8日(月)石和西小、御坂西小、石和南小に、10日(水)一宮南小学校に、笛吹市と教育交流の協定を結んでいる中国の天津市より訪問団が訪れました。このうち、石和西小学校では、まず子どもたち主体による盛大な歓迎セレモニーが行われました。交流行事では、歌を歌ったり、子どもどうしでペアを組み、新聞ゲームをしたり2枚の折り紙を重ね合わせて手裏剣作りをしました。天津市の子どもたちは、はじめは折り紙を折るのに苦戦していましたが、折り方を教えてもらいながら楽しそうに折っていました。それから、校舎内を見て回りながら、授業の様子を見学したり、給食を共にするなど交流を深めていました。また、御坂西小学校では、4年生がリコーダー

の合奏を披露すると、天津市の子どもたちからは、歌や民族舞踊が披露されるなど、こちらも互いの交流を深めることができました。プレゼントの交換も行われ、子どもたちは互いに向かい合い、各々のプレゼントを手渡しました。グローバル化が叫ばれる中、子どもたちが海外の人と触れ合うことができ、よい経験になりました。



石和西小学校のようす



御坂西小学校のようす





夏休み中の行事特集



今の子どもたちが大人になる頃は、その先を見通すことが困難な時代になると言われています。オックスフォード大学のマイケル・A・オズボーン氏の今後 20 年ほどの間に、今ある職業の半分はなくなるという話もあります。このような時代を生き抜くため、未知のことを体験したり、仲間といっしょに1つのことを成し遂げたりする経験が大切になります。夏休み中に管内で行われた工作教室や体験活動を取材しましたが、子どもたちにこのような体験や経験させるよい機会となっていると感じました。

日川高校 SSH と科学を学ぼう

山梨県立日川高等学校



日川高校では7月20日(土)「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」事業の一環として峡東地区管内の小学校高学年を対象に峡東地区内の中学生と協働して小学生科学教室「サイエンスステップ」を開催しました。70名の児童が参加し、「物理・化学・生物・地学・数学・情報」



について日川高校生 80 名と中学生 10 名が 13 の講座に分かれ講師となり実験や実演を通して学習した後、いろいろな製作や実験を行いました。児童たちは高校生や中学生の指導を受けながら楽しく科学に関する学習をしていました。中学生や高校生からは「自分の勉強になった」、小学生からは「優しく教えてもらった」「楽しかった」「おもしろかった」などの感想がありました。



夏休み木工工作教室&茶道教室

学びの広場ふえふき・富士見小学校



7月29日(月)~31日(水)にNPO法人学びの広場ふえふき主催で「夏休み学びの広場」が開催されました。このうち、31日の「竹を使ってかざぐるまを作る木工工作教室」では、薄く剥がした4本の竹ひごを組み合わせて編んで、かざぐるまを作る作業に子どもたちが取り組みました。竹を編む手順が難しい作業でしたが、子どもたちは講師の先生の指導を受けながら熱心に取り組んでいました。



プラスチック製の玩具が増える中、子どもたちが、竹の特徴を学んだり、伝統的な工芸作品に興味・関心を持つきっかけとなりました。また、同日、富士見小学校を会場に、「夏休みチャレンジ富士見」と題した茶道教室も開催され、6名の児童が参加し、作法を学んだり実際にお茶を点てたりしました。茶道というかしこまった雰囲気の中でしたが、和やかで楽しい時間が過ぎていきました。



塩山高校パソコン教室

山梨県立塩山高等学校&ことぶき勸学院



8月2日(金)に塩山高校に於いて、ことぶき勸学院峡東教室の生徒へのパソコン教室が行われました。ことぶき勸学院の生徒は、各自のレベルによって2つのコースに分かれ、初心者コースでは、暑中見舞いのはがきの作成に、中級者コースでは、甘草屋敷、向嶽寺、恵林寺、放光寺をまわる「塩山のお散歩ガイド」の作成に取り組みました。この教室での技術指導は、ことぶき勸学院の生徒一人に対して塩山高校の生徒一人がついて指導する形式が取られ、ことぶき勸学院の生徒が戸惑っていると、高校生がそっと手を差し伸べる姿が印象的でした。



この取り組みは、毎年行われており、ことぶき勸学院の生徒がパソコンを学ぶだけでなく、高校生にとっても自分の知識を他の人に伝えることの難しさや準備の大切さを感じることができる有効な取り組みとなっています。

高校生のインターンシップ

7月25日(木)から8月9日(金)にかけて、山梨高校と塩山高校の2年生全員が市役所、保育園、医療機関、地域の企業などに出向き、インターンシップを行いました。この取り組みは、塩山高校、山梨高校共に約60の事業所の協力の下、実施されています。生徒は、事前学習や事業所への依頼、事前訪問を行った上で就業体験に臨みました。保育園では、園児の遊びの見守りや指導を、パン屋では、実際にパンの製造や商品の陳列を、製造業の企業では、金属製品の組み立て作業を、小売店では商品の陳列や野菜の袋詰め作業を、ホテルでは食事の配膳や片付け、博物館では、受付や館内の案内をそれぞれ行いました。金属製品の組み立てでは、「ものを作ることが楽しい」、小売店の商品の陳列では「きれいに並べることは思ったより難しい。」との感想もきかれ、生徒それぞれが貴重な体験をしていました。就業体験の後、生徒は体験した内容をまとめるなど振り返りを行ったり、お礼状の作成を行います。

次世代を担う高校生が、各事業所での体験を通し、広い視野で社会を見る力を身につけ、社会人としてのルールやマナーを経験したり、自分の進路について考えるなど、働くことへの意欲や関心を醸成するきっかけづくりになると共に、事業所側にとっても、地域の高校生との繋がりを作ったり、事業所の魅力を伝える機会になりました。

山梨県立山梨高等学校・塩山高等学校



山梨県中学校総合体育大会

| | | | | | |
|----------|----|------------|--------|----|-------------|
| 体操競技 | 女子 | 石和中A (準優勝) | サッカー | 男子 | 一宮中 (3位) |
| | | 石和中B (3位) | ソフトテニス | 男子 | 山梨南中 (3位) |
| バレーボール | 男子 | 山梨南中 (優勝) | | 女子 | 塩山中 (優勝) |
| | 女子 | 山梨南中 (優勝) | バドミントン | 男子 | 勝沼中 (優勝) |
| バスケットボール | 男子 | 笛川中 (優勝) | | 女子 | 勝沼中 (準優勝) |
| | | 塩山中 (3位) | 弓道 | 女子 | 石和中 (3位) |
| ハンドボール | 男子 | 山梨南中 (優勝) | 陸上 | 女子 | 石和中2年 (優勝) |
| | | 山梨北中 (3位) | | | 一宮中1年 (準優勝) |
| | 女子 | 山梨南中 (優勝) | | | |
| | | 塩山中 (準優勝) | | | |

山梨県吹奏楽コンクール (中学校・高校)

| 学校名 | 成績 | 西 関 東 大 会 予 定 | |
|------|--------|---------------|---------------|
| 日川高校 | 高校A 金賞 | 9月 8日 (日) | 群馬県 ベイシア文化ホール |
| 山梨高校 | 高校B 金賞 | 9月22日 (日) | 新潟県新潟市民芸術文化会館 |